

令和4年度 埼玉県・オハイオ州グローバルスピーカープログラム 後期
最終レポート

片桐 麻里子

はじめに

最終レポートでは、2023年1月～5月までの5か月間実施されました埼玉県・オハイオ州グローバルスピーカープログラム第4期(後期)での授業についてと埼玉親善大使としての活動を振り返っていきます。

1. 授業

授業は“*All for One and One for All*”というテーマのもと、社会学者ホフステッドによって生み出された文化的次元理論のうち「集団主義 VS 個人主義」という指標を用いて、日本とアメリカそれぞれの価値観や文化、生活様式を比較・議論しました。以下に、計10回にわたる授業スケジュールを詳細に記します。

①1月11日(水) 8:30-10:00 pm (JST) オリエンテーション

授業を担当していただいたモット教授と自己紹介やお互いへの質問を通して親睦を深めました。

②1月25日(水) 8:30-10:00 pm (JST) ホフステッドの文化的次元理論の説明・導入

テーマとなるホフステッドが開発したホフステッド指数(文化的次元理論)の概要について解説していただきました。指数を通して、日本とアメリカを含む主要な国家が集団主義あるいは個人主義のいずれかに偏っているのかを学びました。また、「集団主義 VS 個人主義」に沿ってプレゼンテーションを行っていくため、発表までのスケジュールや形式についても確認しました。

プレゼンテーションは、フィンドレー大学の学生とペアになり日米の価値観が集団主義的あるいは個人主義的なのかをオンラインで話し合い、両国の共通点や相違点をまとめて相手の国のケースについて発表するというものでした。

③2月8日(水) 8:30-10:00 pm (JST) ペア(フィンドレー大学の学生)との議論内容の発表

ペアになったフィンドレー大学の学生と日米両国の価値観について Zoom でディスカッションし、議論の内容を授業で発表しました。私は「家族・友達」という観点からモット教授と他の2人の参加者に話し合いの内容を共有しました。他の参加者の発表に対しては意見の付け足しなどをして、全員でプレゼンテーションの要点をより中身の濃いものに上げることができました。

④2月22日(水) 8:30-10:00 pm (JST) パワーポイントスライドの作り方

この授業では、わかりやすいスライドを作るコツを勉強しました。たとえば、グラフや表を活用すること、文章をスライドいっぱい詰め込まずに余白部分を十分に残すこと、テキストやイメージはバランスの良い配置を心がけることなどが適切なスライド作りのポイントです。観客に見やすく、かつメインである話し手に集中できるように適度な情報量をスライドに含めることの重要性を理解しました。

⑤3月11日(土)9:00-10:00 am (JST) ゲストスピーカーセッション

この回は通常授業とは異なり、オハイオ州立大学の野田眞理教授とともに、日本とアメリカの集団主義・個人主義について有意義なディスカッションを行いました。ペアとの話し合いのみでは得られなかった新たな視点に気づき、両国の差異について詳しく知ることができました。

⑥3月22日(水)8:00-9:30 pm (JST) 伝わりやすいプレゼンテーションについて

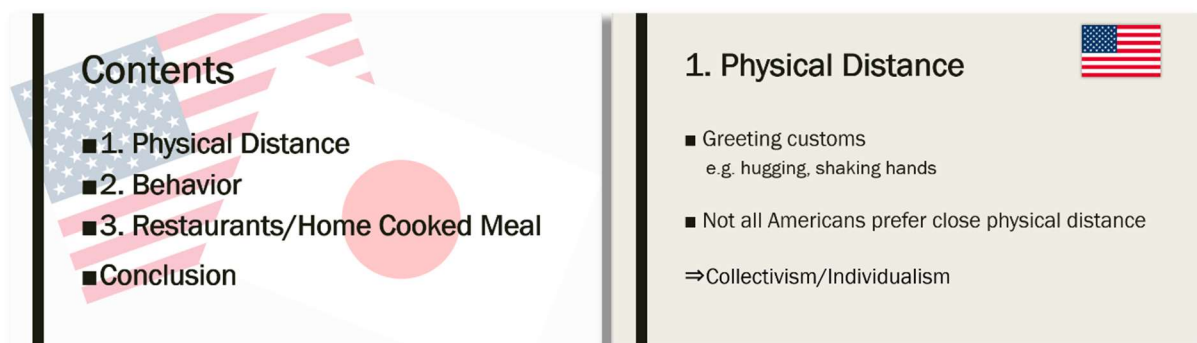
相手に伝わるプレゼンテーションにおける話し方に不可欠なエレメンツとして、以下の6点のポイントを学習しました。声のトーン、ペース、ボリューム、間、強弱、文章の中でアクセントをつける場所といった注意すべきポイントを意識し実際に文章を読みながら練習し、プレゼンテーションスキルを大きくレベルアップさせることができた授業でした。

⑦4月5日(水)8:00-9:30 pm (JST) オンラインでのプレゼンテーションの注意事項

すべての発表が対面ではなくオンラインで実施されるため、オンラインであるからこそ留意すべき点を学びました。基本的なセッティングについては適切な背景や音量などを確認し、発表内容や場面に応じた服装、時間配分、そして観客の集中を促すために話し手がジェスチャーをつけやすい立った状態で発表することをオンラインでのプレゼンテーションにおける注意点として細かく知ることができました。また、「集団主義 VS 個人主義」に関するフィンドレー大学のシンポジウムでの発表のための原稿やスライドの準備を進めました。

⑧4月15日(土)2:00-3:00 am (JST) フィンドレー大学のシンポジウムにて発表

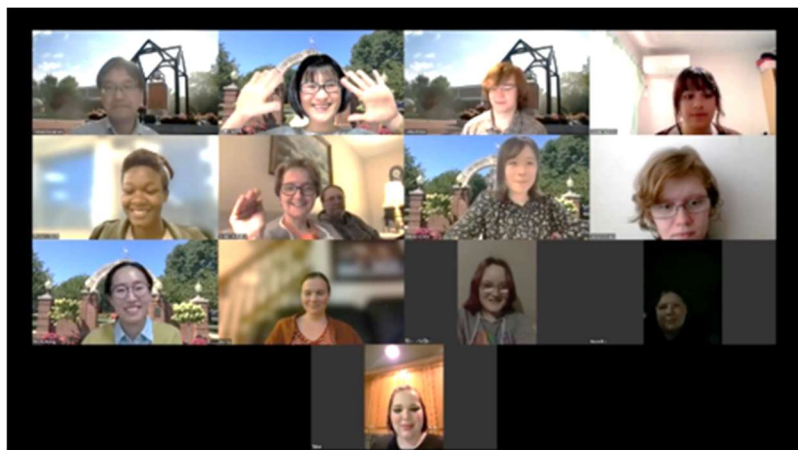
対面のプレゼンテーションを行うフィンドレー大学の教室と Zoom をつなぎ、計3ペアの発表を実施しました。下のスライドのように、私はアメリカの文化や価値観について、家族・友達という観点の中で身体的距離(フィジカルディスタンス)、態度、レストランや家で食事する場面の3つの場合に分け、日本側の状況を説明するペアと交互に発表しました。参加者たちやペアとのディスカッション、適切なスライドの作り方や話し方を実践した成果を出し、トラブルもなく無事に発表を終えることができました。



発表に用いたスライド

⑨4月22日(土) 8:30-9:30 am (JST) 埼玉親善大使として地元に関するプレゼンテーション

埼玉親善大使としての最初の活動は参加者がそれぞれの地元を紹介するプレゼンテーションでした。ここでは、埼玉県の有名な観光地について説明にするのではなく、参加者たちの人生や日常生活と密接に関わる地元としての「パーソナルな埼玉県」を紹介することで、埼玉県のリアルなイメージを持ってもらうことを目標に設定しました。私が住んでいる上尾市で身近な存在であるショッピングモールや寺や母校である小中学校を取り上げ、スライドには写真をたくさん用いてフィンドレー大学の学生や関係者の方々(写真)と交流しました。質問が活発に飛び交っていたため大きな達成感を感じました。



⑩4月26日(水) 8:00-9:30 pm (JST) 復習、まとめ

これまでの9回の授業で行った、参加者たちやフィンドレー大学の学生、モット教授とのディスカッションやプレゼンテーション、細かく教えていただいた発信力を磨くためのスライドや話し方を総括しました。

2. 埼玉親善大使としての授業外の活動

深谷市に新しくオープンされたふかや花園プレミアム・アウトレットと、隣接する深谷テラスパーク、ヤサイな仲間たちファームを4月7日に訪れました。3箇所とも秩父鉄道のふかや花園駅から徒歩3分で、公共交通機関からのアクセスも良好でした。ヤサイな仲間たちファームでは、ランチに埼玉県の野菜をたっぷり使った料理を食べました



左から、片桐麻里子、寺田陽香、菅野ますみ

(写真)。また、5月13日には私たちは所沢市の豊かな自然や名所の寺院を訪れ、埼玉西武ライオンズの野球観戦を行いました。通称狭山湖の山口貯水池、山口観音(金乗院)、ベルーナドームは西武狭山湖線の西武球場前駅から近く、狭山湖と山口観音は14時開始のデーゲームまでの観光にぴったりでした。

3. 成果発表会、修了式

5月28日にオンラインで開かれた成果発表会では、プログラムで実施された授業や発表の内容をまとめ、それに加えて埼玉親善大使として取り組んだ活動について紹介しました。観客の方々にオンライン留学中のプレゼンテーションがどのようなものなのか、そのイメージをつかんでいただくために、「集団主義 VS 個人主義」についての英語での発表を実際のスライドをお見せしながら日本語で要約してお伝えしました。成果発表会の後に修了式が行われ、参加者3人に修了書が授与されました。



成果発表会で使用したスライド



修了式の様子

まとめ

OSGS プログラム全体において、授業で学んだプレゼンテーションのノウハウを、現地の学生や先生方などへの地元についての紹介プレゼンテーションで活かせることが一番印象に残っています。授業で得た様々な知識を活用していくなかで、住んでいる上尾市の魅力が相手に伝わりやすい発表となりました。一方で、ペアになったフィンドレー大学の学生と Zoom でのディスカッションの打ち合わせをする際に、時差を考慮してその時間を設定しなければいけなかったということが苦勞した点でした。ですが、こういったプレゼンテーションを準備する段階は、オンラインでオハイオ州とつながっていることを特に実感できた意味深い時間でした。英語で数回プレゼンテーションをするにあたって1から具体的に教えていただいたため、留意点を明らかにすることができました。また、現地学生と学習テーマに沿って話し合うことで、日本とアメリカの価値観や生活様式、文化の違いを多面的に知ることができました。授業で培った積極性やプレゼンテーションのスキルを、大学ではゼミなどの活動で実践していきたいです。OSGS プログラムが終了した後も埼玉県とオハイオ州に関心を持ち続け、まだ行ったことのないオハイオ州にも是非訪れたいと考えています。